

講師の指導を受け、そば打ちに挑戦



## 体験から生まれる笑顔と交流

◎グリーン・ツーリズムフォーラム

1月18・19日の2日間にわたって、「グリーン・ツーリズムフォーラム」が開催されました。18日には「みんな田舎へ集まれ！—愛顔あふれる愛媛のグリーン・ツーリズム」と題して、実践者による事例発表等を実施。2日目には、「そば打ち・うどん打ち・こんにやく作り・ピザ焼き」の4つの班に分かれて体験型研修を行い、交流を深めました。

参加した人たちの中には、これらを初めて体験する人も多くおり、講師の人たちのアドバイスを聞きながら、熱心に、そして楽しそうに取り組んでいました。

炎を上げるやぐらに玉ぐしを奉納



## 人々の願いを炎に込めて

◎愛治地区どんど焼き

正月に飾っていたしめ飾りやお守りなどを燃やし、正月の神様を空に送る「どんど焼き」は1月12日、愛治地区で行われました。

神主による祝詞で、厳かに始まった神事。そして、いよいよ代表者らによる火入れが行われ、住民らによって投げ入れられた正月飾りが、竹が燃える大きな音とともに、激しく燃え上がりました。

毎年、町内各地区で行われている「どんど焼き」。その煙にあたりと無病息災の願いが叶うとも言われ、参加した人たちは、空高く燃え上がる炎に、今年1年の無病息災を祈願していました。

山下シェフにコツを教わる参加者



## 豪快な調理が生み出す繊細な味

◎男のきじ料理教室

「男のきじ料理教室」は1月22日、中央公民館2階調理室で行われ、町内の男性8名が参加しました。

この日は元大阪全日空ホテル総料理長・山下堅二シェフを講師に迎え、「丸きじの和風ポトフ」に挑戦。豪快な包丁さばきで切られたきじ肉や野菜などといった材料からは、素材の旨みが引き立つ柔らかな味わいが生み出されました。

参加者の中には、「普段から料理が好きで、家でも作っている」と話す人もおり、プロの技を少しでも盗もうと、目を輝かせながら、その技と手さばきに見入っていました。

笑顔で感謝状を受け取る長瀬さん



## 住民の心に寄り添う優しさに感謝

◎人権擁護委員・法務大臣感謝状授与

1月20日、町の人権擁護委員として、地域の方々の相談に親身になって耳を傾け、献身的に活動された功績に感謝し、法務大臣より長瀬和美さん、上大野に感謝状が贈呈されました。

平成17年に人権擁護委員に任命されて以来、長瀬さんは9年間にわたり穏やかな表情と話しぶりで、相談者の心に寄り添い続けてきました。

長瀬さんは「長く続けてきただけのこと。このような感謝状をいただけるとは思わなかった」と話し、謙虚な言葉の中に喜びを滲ませながら、この感謝状を受け取っていました。